

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0518
施設名	東中川保育園
施設所在地	葛飾区高砂 6 - 4 - 1 5
法人名	社会福祉法人東中川会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

リズムあそび

<テーマの設定理由>

リトミックを含むリズム遊びを通して、音やリズムに親しみ、体を使った表現・反応力を育て、また協調性や創造性を育んでいきたい。

2.活動スケジュール

令和7年8月より令和8年3月までの間の、それぞれのクラス6回ずつ。
その他に、各クラス担任が日常生活にリズム遊びを取り入れていた

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

リトミックスカーフ、タンバリン、すず、カスタネットなど楽器を準備した。
環境に関しては、リトミック講師指導の下、保育室を区切ったりして使用した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

リトミック講師による指導、それぞれのクラス参加。その後、リトミック講師から指導を受けた保育士がそれに沿って各クラスで日常的に保育に取り入れていった。幼児は、3クラス合同で行う日もあった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子ども達は初回より、とにかく興味津々でとても楽しみ集中していた。その後も教室、クラスでのリズム遊びを通して、体を動かしての表現や体を動かす楽しさを知り楽しんでいた。学年間わず一緒になって遊戯やダンスを楽しむ姿もあった。また、年長児の遊戯ダンスを真似して乳児が取り組む姿も見られた。また、保育士がリトミック教室で行ったことを、日常の保育の中に取り入れると、そちらもとても楽しんで参加していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日々の繰り返しにより、子ども達の変化していく様子がよく分かった。やるたびに楽しみ、集中し積極的になっていく姿があった。職員の気付きとして0歳児でもあんなに集中するんだ！と大きな発見がありました。以降、0歳児クラスでも見よう見まねでリズム遊びを積極的に楽しむ姿があった。また、日々の中でも少しずつ取り入れていく中で、即時反応により、切り替えにかかる時間が減ってきた。リズム遊びを楽しむことを第一の目標として行ってきたが、思わぬところにも効果が見られた。職員向け講習を通して、リトミックのピアノに対する難しいという先入観が少しずつ解消されつつあり、保育の中でも積極的にリズム遊びに取り組む姿がみられるようになった。